

## 丸 亀 市

担 当 課	教育委員会 総務課
住 所	丸亀市大手町二丁目 4 番 21 号
T E L ・ F A X	TEL 0877-24-8820 FAX 0877-24-8868

放 課 後 子 供 教 室 箇 所 数	10 教室		
放課後児童クラブとの連携状況	<b>校内交流型</b>	<b>連携型</b>	<b>該当なし</b>
	2 教室	2 教室	6 教室
地域学校協働活動推進員又は 地域コーディネーターの 役職等（人数）	元教員、NPO 関係者など(10 人)		
協働活動支援員人数	110 人		
<b>推進・運営委員会委員数</b>	12 人		

## どっきん☆くらぶ

教室の特徴 ここが一押し・教室の自慢	<p>2009 年度より委託を受け、丸亀市最初の放課後子供教室として開催して 16 年経過しました。地域の中で、放課後の居場所として根付き子どもたちが、通いたいと思ってもらえる居場所になっています。</p> <p>様々な大人に関わってもらい、沢山の体験を積み重ねる時間も貴重ですが、学校でも家庭でもない自由で自分であれる場所として子どもたちがのびのびと過ごせることができるのが、どっきん☆くらぶの人気の理由だと思います。</p>
活動場所	さぬきっずコムシアター内施設 な～や 土器コミュニティセンターなど
活動日・時間・実施回数	火～金曜日 14:30～18:30 177 回 休日 10:00～14:00 1 回イベント 夏休み教室 9:00～12:00 14 回
活動内容	自由あそび、簡単工作、季節工作、おはなし会、野菜ソムリエさんの野菜教室、竹パン教室、陶芸教室、野菜作り、ボードゲーム、フィットネス教室、わらべうた体験、ストーリーテリング、レザークラフト、サイエンス教室、防火訓練、茶道体験、うどんづくり、外遊び、バス遠足、多世代交流イベント、演奏会、おやつ作り、こどもヨガ

## 教室の充実に向けて

様々な体験ができるよう幅広く地域の方に関わって頂いています。子ども達の年齢や人数など細かく理解していただき、プログラムを考えてもらっています。スタッフのスキルも向上できるように研修会参加や情報収集にも努めています。

子ども達が年齢性別に関係なく関わり合い、お互いを尊重し合えるよう、スタッフの関わり方も日常的に考慮と工夫に努めています。

また、保護者と子どもに対して説明会を行い、大切にしていることや決まり事など事前に理解してもらう機会を作っています。

スタッフミーティングを月に1回設け、子どもの様子や取り組みの振り返り、計画等の話し合いをし、スタッフ間での共有を図っています。

登録児童数・平均参加人数

登録児童数：60人 平均参加人数：14人

## 子どもとのかかわり方の工夫

- 子どもたちが自主的に取り組めるよう、スタッフは指導者ではなく寄り添うファシリテーターとして関わっており、スタッフを呼ぶ時は「先生」ではなく、〇〇さんと呼んでもらっています。
- 学年や性別に関係なく、みんなに関わり合えることを大切にしています。
- 子どもたち一人ひとりを「認める」こと、受容することを大事にしています。気持ちに寄り添うよう「どうしたの?」「どうしたいの?」といった声掛けを心がけています。
- 生活力、自己管理能力、創造力、編集力を身につけられる場、個性を大切に子ども達同士の認め合いまた自己実現の場にもなるよう環境づくりやスタッフ同士のスキルアップにも努めています。
- 個性ある子も多く、コミュニケーションが難しい子もいるため、子どもとの関わり方に対し、常にスタッフ間で情報や関わり方などの共有を密にしています。
- 保護者と子どもの様子を共有する為、お迎え時に話をする時間を取るようしています。
- 子どもたちが、主体的に自分自身で考え行動できるように、規制をするのではなく「見守り」を大切にしています。



今年度初めてこどもヨガに挑戦しました



サイエンス教室は、いつもわくわくドキドキ感でいっぱいです

## 「ろくごう夢クラブ」夏休み子ども教室

教室の特徴 ここがー押し・教室の自慢	地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に、スポーツや文化活動など、地域住民との交流を図りながら、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを提供しています。
活動場所	城坤コミュニティセンター・城坤小学校体育館（スポーツ）
活動日・時間・実施回数	夏休み期間中 活動日22日・72.5時間・29回
活動内容	「サイエンス・陶芸・クラフト・スポーツ・お菓子づくり」の5教室を、小学校1年生から6年生までの学年別で実施。
教室の充実に向けて	お菓子づくりや陶芸教室など、学校では体験できないような内容に取り組んでおります。
登録児童数・平均参加人数	登録児童数101人・平均参加人数16人

### 子どもとのかかわり方の工夫

- 学年別で実施することにより、同じレベルで学べること、また、一緒に5日間いるので、新しい友達にも馴れ、楽しく学べるように心がけました。
- 地域の支援者や子どもとのかかわりを大切にし、夏休みの間、子どもたちの居場所づくりに心がけました。
- 保護者の信頼を得ながら、楽しく学べ、家族間の会話がはずむように心がけました。



お菓子づくり



陶芸教室

## わんぱくクラブ

教室の特徴 ここがー押し・教室の自慢	様々な体験を楽しくする。『何でも見てやろう、やってみよう』参加者と親子で体験し、みんなで協力してやってみよう。
活動場所	飯山北コミ、飯山町内、丸亀市内等
活動日・時間・実施回数	原則第4土曜日、2時間～3時間 7回～9回
活動内容	わんぱく農園の植付け収穫、ゲーム大会、各種企業訪問、自然体験、うどん作り
教室の充実に向けて	企画内容の工夫、親子参加を促している。
登録児童数・平均参加人数	登録数約60名 平均参加数20名～40名(保護者含む)

### 子どもとのかかわり方の工夫

参加者には楽しい、面白い体験できるように考えています。親子で協力しての物作り、野菜の収穫等を体験する。楽しく体験できないと、活動は出来ません。農園の植付け、収穫の準備はスタッフの作業が少し大変です。各活動の準備作業もスタッフ同志、楽しくやっています。子どもたちとスタッフも一緒に体験が出来ることを目指しています。



- ・6月わんぱく運動会です。玉入れ、スプーンレース、パン食い競争などを楽しくできました。



- ・さぬき海幸販売促進協議会の材料提供、指導を受けて、10mの海苔巻きをみんなで面白く体験出来ました。海苔巻き完成後は美味しく食べました。

## おじよもんクラブ

教室の特徴 ここが一押し・教室の自慢	幅広いジャンルの体験型教室
活動場所	飯野コミュニティセンター
活動日・時間・実施回数	40回程度・冬休み・春休み・土日・放課後（早帰りの日）
活動内容	レクリエーション・スポーツ大会・クラフトなど
教室の充実に向けて	家庭・学校・青い鳥教室との連携
登録児童数・平均参加人数	登録者児童数 128名 ・ 平均参加者数 36名

### 子どもとのかかわり方の工夫

- あいさつ・整理整頓・準備・片付け等約束事を決めている。
- 学年に応じて準備や活動のレベルを変え、子どもたちみんなが楽しめるように配慮している。
- 参加者が多いため、スタッフの配置を調整し安全管理を徹底している。
- 子どもたちからの声を運営委員会で共有できるよう、しっかり声掛けをしている。



おやつ教室 7月31日



サイエンス教室 8月20日

## みんなのみなみ みなみのみんな

<p>教室の特徴 ここがー押し・教室の自慢</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人との交流を通して地域を愛する子どもを育てる。</li> <li>・城南地区は、転入してくる人たちが多く地域である。児童数も増加傾向にある。そんな今だからこそ、「地域みんなで地域の子どもを育てる」という意識を強く持つことが大切だ。教室名の「みんなのみなみ みなみのみんな」は、地域全体のキャッチフレーズでもある。</li> </ul>
<p>活動場所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀市立城南小学校 ・城南コミュニティセンター</li> </ul>
<p>活動日・時間・実施回数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週水曜日 14:00～16:30 年間 40 回程度「にこにこみなみ」</li> <li>・毎月第3土曜日 9:30～11:30 年間 12 回「にこにこみなみ」</li> <li>・夏休み6日間「サマースクール」8:30～11:30</li> </ul>
<p>活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木工教室1日</li> <li>・ドリル教室2日</li> <li>・本大好き教室1日</li> <li>・ポスター教室1日</li> <li>・ふるさと学芸館探検ツアー1日</li> </ul> <p style="text-align: right;">「サマースクール」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題応援・ボードゲーム・読み聞かせ等「にこふにこみなみ」</li> </ul>
<p>教室の充実に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年行っているサマースクールは参加者が増え続けている。スタッフの確保を懸命に行っている。</li> <li>・ふるさと学芸館探検ツアー等、他施設へ出かけて行っの体験も取り入れていきたいと思う。</li> <li>・回数を重ねていくことで、慣れて打ち合わせをスムーズにできる良い面と、だからこそ、お互いのずれが生じるというマイナス面もある。内容の確認のための打ち合わせの時間を充分とることを意識した。</li> </ul>
<p>登録児童数・平均参加人数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サマースクール 登録人数 145 人 平均参加人数 105 人</li> <li>・毎週水曜日、毎月1回土曜日の「にこにこみなみ」については登録制をとっていない。</li> </ul>

### 子どもとのかかわり方の工夫

- 子ども一人ひとりに丁寧に接することや、回数を重ねて顔を合わせることで、スタッフと子どもの距離が縮まってきたように思う。スタッフは「転ばぬ先の杖」になるのではなく、子どもたちが、できるだけ自分の力でハードルを越えられるように、見守ろうと共通理解を図っている。
- 城南小学校区地域学校協働本部の活動と連携することで、人的ネットワークを活用でき、それぞれの活動が子どもにとってもより充実したものになる。そして、地域の絆も深まり、「みんなのみなみ みなみのみんな」の意識の高まりにもつながっている。



ふるさと学芸館探検ツアー



本大好き教室

## 富っ子クラブ

教室の特徴 ここが一押し・教室の自慢	夏休みの宿題を早期に終わらせ、親子で夏休みを楽しもう。
活動場所	富熊コミュニティセンター、ゆうとぴあ綾歌
活動日・時間・実施回数	夏休み（7月末～8月中旬）
活動内容	夏休みの宿題塾を3日間手助けする。8月に入り、ペットボトルロケットを親子で作成して屋外で飛ばしてみる。外部講師の指導のもと、天体望遠鏡を使い親子で「星空」を観察する。
教室の充実に向けて	専門的な知識・経験を持った講師に依頼して、「楽しくてためになるのでまた来たい」と思われる教室にしていく。
登録児童数・平均参加人数	登録数 70名、平均参加人数 15～20名

### 子どもとのかかわり方の工夫

- 夏休みの宿題を教師経験者に教わりながら実施
- 天体望遠鏡で日常では見られない「星空」を親子で観察
- ペットボトルなどの廃品を利用して親子でロケットづくりに取り組む。

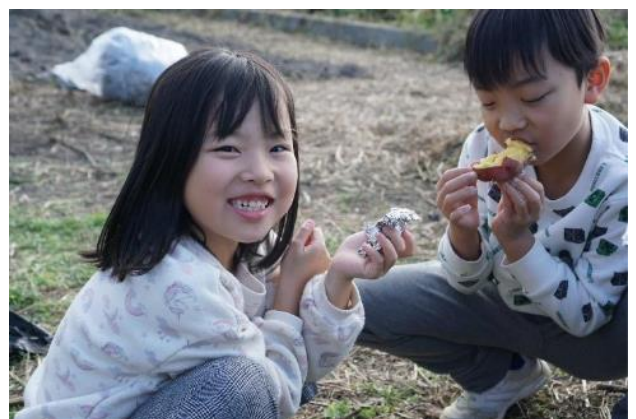


## 辰の子教室

教室の特徴 ここが一押し・教室の自慢	植物の生育を知ってもらい、実際に植え付け、収穫の体験をしてもらう
活動場所	川西町南「川西わくわく」森林公園 南側 ふれあい農園
活動日・時間・実施回数	令和7年6月7日 10:00～11:30 令和7年11月15日 9:30～15:00 2回
活動内容	城辰小学校生を対象に環境学習を実施 さつまいも植え付け、収穫を体験
教室の充実に向けて	学校との連携強化、指導者やサポーターの人材確保
登録児童数・平均参加人数	参加児童 18名、28名

### 子どもとのかかわり方の工夫

- 説明は、ゆっくりわかりやすく丁寧を心がけました
- 子どもたちが芋の植え付け体験を通して、収穫の大切さを学んでもらい、焼芋を食べることにより食の大切さを学んでもらうことを心がけました
- 時間の関係から、焼芋は事前準備の芋で焼芋を作り食べてもらい、当日掘った芋は持ち帰ってもらった。



## ひまわりエルダークラブ

教室の特徴 ここが一押し・教室の自慢	・大人が活動内容を決めるのではなく、子どもがやりたいことを見つけ、計画、実行することを楽しめる教室です。
活動場所	・丸亀ひまわりこども園（活動内容により園外に出ることも多いです）
活動日・時間・実施回数	・春 夏 冬の長期休み ・8:30～17:00 ・年間 30 回程度
活動内容	・クッキング 保育士体験
教室の充実に向けて	・子どもの意見を大切にしています。
登録児童数・平均参加人数	・登録児童 20 名程度 ・参加 7 名/日

### 子どもとかわり方の工夫

- 子どもの疑問や質問に対して、すぐに助言や答えを教えるのではなく、答えにたどりつくまでのプロセスを楽しめるような関わりや言葉かけを心がけています。
- 子ども同士での関わりを大切にし、保育士体験も経験できるようにしています。エルダークラブの子、こども園の園児、と別に過ごすのではなく、同じ空間で過ごし関わりを楽しめるようにしています。



○今年は園舎の大規模改修で仮園舎での開催となりましたが、たくさんの方にご利用いただきました。

○小学校1年生から中学校1年生まで幅広く参加しています。

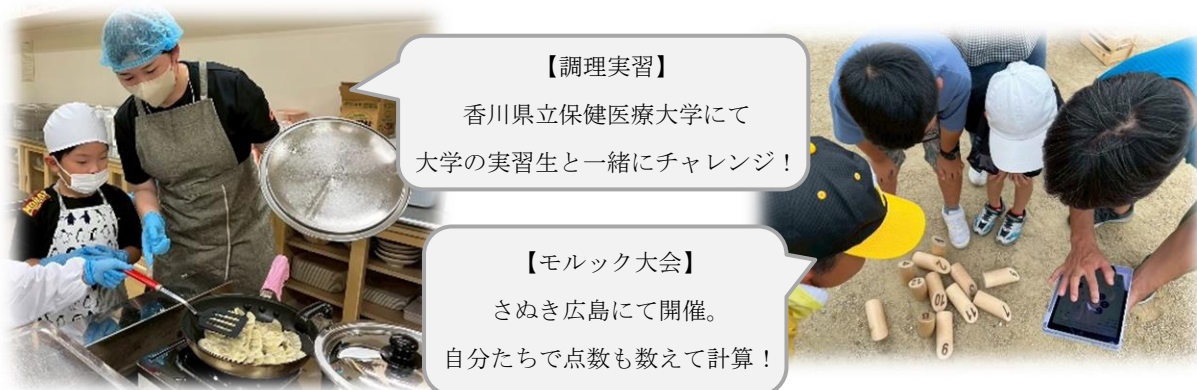
○毎回参加していると園児の成長にも気付くようになり「この子、こんなこと出来るようになってる」「ここが難しそうだからこうしてみたら？」など、保育士と話す姿も見られるようになってきました。

## COCO 育

<p><b>教室の特徴</b> ここが一押し・教室の自慢</p>	<p>「ココ行く?」「ここで育つ」をキャッチフレーズとし、子ども1人1人が持つ潜在能力を信じて、子どもを主体とした学習や体験活動等の多様な活動を行っております。 また漢字, 論理文, 英語, プログラミング等の検定認定会場(準会場)として定期的に検定を実施しております。日々の学習において子どもたちの学ぶ意欲を大切に、新しいことに挑戦する機会を提供しています。 さらに、地域の人々との交流、日本の伝統文化の継承を考えたイベントの実施で、地域全体での子育てができる環境づくりを目指しております。</p>
<p><b>活動場所</b></p>	<p>b&amp;g まるがめ施設内 (丸亀市立城辰小学校北側にあります)</p>
<p><b>活動日・時間・実施回数</b></p>	<p>毎週月曜日～金曜日、15:00～17:30、月に平均20日</p>
<p><b>活動内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習 (宿題や自主勉強、検定に向けての学習)</li> <li>・体験活動 (季節に応じたイベント、オンライン学習等)</li> <li>・地域交流 (コミュニティセンター等での季節のイベント、さぬき広島での農業体験やSDGs学習、防災体験学習等)、高校生・大学生ボランティアとの屋内・野外体験</li> </ul>
<p><b>教室の充実に向けて</b></p>	<p>室内遊び以外にも屋外、オンラインなど多種多様な活動を実施</p>
<p><b>登録児童数・平均参加人数</b></p>	<p>登録12人、平均5人</p>

### 子どもとのかかわり方の工夫

- 子ども会議を中心とした意見交換の場を設け、常に子どもが主体となって活動を行う。  
子どもの自主性を大切に、楽しく活動に参加できる環境づくりを心がける。
- お金の学習の一環として、教室内で使える通貨(キッズハート)の活用。  
→将来、働くために必要な計画性や協調性、お金の価値を育むための豊富な仕掛けとしてお手伝いを仕事に見立て、応募・面接を行い、一か月の給料制とする等。  
→使い方は自由! 教室にあるミニ売店で文房具やおかしを買っても、貯めてもOK!
- 職員の子どもとのかかわり方についてのスキルアップ強化  
→ボランティアさん、実習生さんも含めた定期的なミーティングの場を用いて、共通した接し方ができるよう、心がける。



#### 【調理実習】

香川県立保健医療大学にて  
大学の实習生と一緒にチャレンジ!

#### 【モルック大会】

さぬき広島にて開催。  
自分たちで点数も数えて計算!

## ぐんちゃんクラブ

<p><b>教室の特徴</b> ここが一押し・教室の自慢</p>	<p>ぐんちゃんクラブの自慢は、地域の人材を生かし繋がりが生まれ、みんながぐんぐん伸びる教室です。 地域の方を講師に招き、地域サポーターさんとあたたかい雰囲気の中で活動しています。 さらに、中学生ボランティアさんと一緒に活動することで、年齢をこえた学び合いや思いやりの心を育てています。</p>
<p><b>活動場所</b></p>	<p>郡家コミュニティーセンター</p>
<p><b>活動日・時間・実施回数</b></p>	<p>夏休み3日間 9:00～12:30</p>
<p><b>活動内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石粉粘土教室+運動遊び</li> <li>・絵画教室+運動遊び</li> <li>・縁日+卓球(射的・ボールターゲット・かるた・ビンゴ大会等)</li> </ul>
<p><b>教室の充実に向けて</b></p>	<p>地域の方・学校との連携を取り、スタッフのみんなと内容だけでなくコミュニケーションを取りながら打ち合わせをしています。</p>
<p><b>登録児童数・平均参加人数</b></p>	<p>50名 ・ 平均参加者数 35名</p>

### 子どもとのかかわり方の工夫

- 中学生の上手な声かけや地域の方の見守りにより、子どもたちは安心して自分から挑戦し、主体的に行動する姿が増えています。
- 運動遊びでは体全体を使える工夫を取り入れ、綱引きなどの活動では大盛り上がりする中で協力する力を育てています。
- 一緒に昼食をとることで孤食を防ぎ、食事をしながら自然な交流が生まれています。
- 教室での体験活動を通して、世代を超えた地域交流が広がり、思いやりや社会性が育っています。



## 本事業における成果・今後の課題

- 成果
- ・丸亀市では、島しょ部を除く全 15 校区のうち 9 校区で 10 教室を設置している。今年度は新規開室もあり、地域住民の参加が増加し、事業への理解が進んでいる。
  - ・一部地域では、学生ボランティアの参加により、子どもたちは少し年上のお兄さん・お姉さんと交流する機会を得ている。こうした関わりは、子どもたちにとって身近な憧れや刺激となるだけでなく、スタッフにとっても地元の活動を学生に伝える貴重な場となっている。結果として、地域の未来を担う子どもたちと、学生、スタッフが切れ目なくつながる持続的な活動が実現している。
- 課題
- ・運営者の高齢化により事業継承が困難な教室があり、人材確保と認知度向上が必要である。